



コーディネーターだより

岡山県立岡山南支援学校
支援教育係
平成22年9月14日

台風や前線が通過するにつれ、少しずつ秋らしい雰囲気になってきました。これから夏の疲れが出る時期です。体調を崩さぬよう、お気をつけください。

《夏休みに公開講座を開きました》

岡山南支援学校の学区にある、保育園・幼稚園・小学校・中学校・高校の先生方や特別支援学校・本校の教員を対象に、4つの公開講座を開きました。

延べ760名位の参加者で、どの講座も大好評でした。今年は初参加の保育園・幼稚園が多かったのが特徴的でした。参加者が毎年増えてきて、「どうやって皆さんに会場に入らせていただくか」とうれしい悲鳴を上げるようになりました。

〔講座1〕 テーマ「発達障害者の雇用の実際～現状と課題」

JFEアップル西日本株式会社倉敷事業所課長 原田 精一さんをお招きし、「発達障害者の雇用に関して、特例子会社を運営されている方はどのような支援をされているのかを知り、学校教育でできる支援」について話していただきました。

〔講座2〕 テーマ「これまでの取り組みから思うことと見えてきた課題」

岡山大学教育学部附属特別支援学校 本井 健太先生と本校の長濱幸成教諭に「久里浜特別支援学校での指導の実際や、自閉症教育における新しい課題」について話していただきました。

〔講座3〕 テーマ「行動問題への理解と対応～社会の中で暮らすために教えたこと～」

川崎医療福祉大学 重松 孝治先生に「行動の問題は本人にとっても周囲にとっても大きな悩みであるが、行動の背景となる障害特性まで正しく理解し、集団の中で、また社会の中で生活できる振る舞いを身につけられるような支援の方法」について話していただきました。

重松先生には、開校以来毎年、公開講座でお話しいただいています。

1月にはPTA講演会も予定しています。

〔講座4〕 テーマ「支援ツールで自ら生かせる力を高める」

香川大学教育学部特別支援教育講座 武蔵 博文先生に「自閉症児が自ら分かって、自分から動けるようになるために、支援ツールを使った効果的な支援のあり方」について話していただきました。

《最近であった本から》

『あたし研究』 小道モコ クリエイツかもがわ 1800円 2009年

京都市児童福祉センターの門真一郎先生が講演会で紹介された本です。

小道モコさんは、イラストのセンスがあり、ユーモアあふれた文章を書かれます。

アスペルガーの方が大人になるまでに直面した様々な困難な場面を、イラストで紹介し、適切なコメントを付け加えられ、大変分かりやすい本です。

『高機能自閉症児を育てる 息子Tの自立を育てた20年の記録』

高橋 和子 小学館101新書 777円 2010年

「勉強が趣味」というアスペルガーのお子さんを育てた記録です。

いかに学力があっても、しっかり自閉症の三つ組の特性を持っていて、成長につれて絶えることなく新しい課題が生まれてきます。その課題を一つずつ、周囲の協力を得て、いかにクリアしてきたかについて詳細に書かれていて、とても参考になりました。





地域の動き

総社市では

- 相談支援センター「ゆうゆう」が開設されました。**日常生活に関する相談、福祉サービスに関する情報提供を行っています。総社市役所の隣、総社市総合福祉センターにあります。
相談支援専門員は天野豊、相談支援員：山田新二です。
- 「サポートブック「よろしくね」」モニター版が完成。半年試行し、モニターの声から、改善し、本格的な実施をする予定です。実物は、支援部掲示板の横の棚にあります。

岡山市では

幼稚園にも、特別支援教育コーディネーターが指名されるようになりました。4月23日コーディネーター研修会がありました。岡山市では、年々コーディネーター研修が充実し、ケース会や保護者まじえたケース会など、活発に開かれています。



本校では

- 問い合わせ** 3件 自立活動の手引きについて（特別支援学校）、視覚支援について（特別支援学校）、通常学級登校しぶりの子どもの相談場所は？（保護者）
- 巡回相談** 1園 岡山私立幼稚園5／22（金）

本の紹介「子ども虐待という第四の発達障害」



あいち小児保健医療総合センター 杉山登志郎先生

「子どもに身体的、心理的、性的加害を加え続けると、反応性愛着障害を起こし、結果として、高機能広汎性発達障害や注意欠陥多動性障害によく似た臨床像を呈する。」

【参考図書】

- ・『子ども虐待という第四の発達障害』 杉山登志郎 2007年 学研
- ・『子を愛せない母 母を拒否する子』 ヘネシー・澄子 2004年 学研

2冊とも、石川の机の上にあります。関心のある方は読んでみて下さい。